

平成 27 年 4 月 19 日公開 IT パスポート試験 分析資料

株式会社ウイネット

弊社では、模擬試験ご採用校様の一部並びに弊社教材外部ライティングスタッフの皆様から、公開された試験の出題内容に関するご意見を聴取させていただき、整理及び分析を行いました。今後のご参考として、4 月 19 日に公開された試験（以下、H27 春と表記）の分析をご報告させていただきます。

1. 分野別出題数

分野			H27 春	H26 秋	H26 春	H25 秋	H25 春	H24 秋
1	ストラテジ系	小問	31	30	30	27	30	30
		中間	3	4	5	9	5	6
		合計	34	34	35	36	35	36
2	マネジメント系	小問	15	16	20	22	21	22
		中間	4	3	5	3	3	2
		合計	19	19	25	25	24	24
3	テクノロジ系	小問	38	38	34	35	33	32
		中間	9	9	6	4	8	8
		合計	47	47	40	39	41	40

- CBT 方式（H24 年春）から、小問は問 1～問 84 の 84 問、中間（中間 A～D）は問 85～問 100 の 16 問で構成されています。分野別の出題数は、100 問出題中、ストラテジ系 35 問程度、マネジメント系 20 問程度、テクノロジ系 45 問程度です。
- 100 問出題中、各分野の出題数は前回と同じでした。

2. 大分類別出題数

大分類		H27 秋	H26 秋	H26 春	H25 秋	H25 春	H24 秋
1	企業と法務	16	17	17	14	16	17
2	経営戦略	12	10	9	13	12	13
3	システム戦略	6	7	9	9	7	6
4	開発技術	3	4	8	8	9	10
5	プロジェクトマネジメント	8	6	8	8	8	6
6	サービスマネジメント	8	9	9	9	7	8
7	基礎理論	6	3	4	6	7	6
8	コンピュータシステム	10	11	10	9	10	13
9	技術要素	31	33	26	24	24	21
合計		100	100	100	100	100	100

- 前回と比較して 2 問以上出題数が増えた大分類は、“基礎理論（+3 問）”、“経営戦略（+2 問）”、“プロジェクトマネジメント（+2 問）”でした。
- 前回と比較して 2 問以上出題数が減った大分類は、“技術要素（-2 問）”でした。

3. 中分類別出題数

中分類		H27 春	H26 秋	H26 春	H25 秋	H25 春	H24 秋
1	企業活動	8	8	8	8	9	9
2	法務	8	9	9	6	7	8
3	経営戦略マネジメント	7	6	5	8	9	7
4	技術戦略マネジメント	1	0	0	1	1	0
5	ビジネスインダストリ	4	4	4	4	2	6
6	システム戦略	3	5	6	6	5	5
7	システム企画	3	2	3	3	2	1
8	システム開発技術	2	3	7	7	8	9
9	ソフトウェア開発管理技術	1	1	1	1	1	1
10	プロジェクトマネジメント	8	6	8	8	8	6
11	サービスマネジメント	4	4	6	6	4	5
12	システム監査	4	5	3	3	3	3
13	基礎理論	5	2	3	5	4	5
14	アルゴリズムとプログラミング	1	1	1	1	3	1
15	コンピュータ構成要素	3	3	2	3	2	4
16	システム構成要素	2	2	2	1	3	3
17	ソフトウェア	4	5	5	4	4	5
18	ハードウェア	1	1	1	1	1	1
19	ヒューマンインタフェース	1	0	2	0	1	0
20	マルチメディア	1	1	2	2	2	4
21	データベース	5	3	4	2	3	3
22	ネットワーク	6	10	6	8	7	6
23	セキュリティ	18	19	12	12	11	8
合計		100	100	100	100	100	100

- 前回と比較して 2 問以上出題数が増えた中分類は、“基礎理論（+3 問）”、“プロジェクトマネジメント（+2 問）”、“データベース（+2 問）”でした。
- 前回と比較して 2 問以上出題数が減った中分類は、“ネットワーク（-4 問）”、“システム戦略（-2 問）”でした。

4. 中間 A～D（問 85～問 100）

	テーマ	分野	難易度	コメント
中間 A	IC カードによる入退室管理	テクノロジ系 4 問	やや易	入退室管理の概要とデータベースの構造が理解できれば、解けた問題でした。
中間 B	製品の改良プロジェクト	マネジメント系 4 問	やや易	アローダイアグラムとリスクが理解できれば、解けた問題でした。
中間 C	売上高の損益分析	ストラテジ系 3 問 テクノロジ系 1 問	普通	損益分岐点と利益を求める式を覚えていれば、解けた問題でした。
中間 D	モニタ調査の集計	テクノロジ系 4 問	普通	集合、ベン図、論理演算に慣れていれば、解けた問題でした。

5. 初めて出題された用語と今後の対策

初めて出題された用語として、KPI（問 5）、BI（問 6）、NDA（問 7）、歩留り（問 11）、コモディティ化（問 17）、SEO（問 19）、イノベーション（問 23）、RFM 分析（問 24）、PMBOK（問 41）、フィールドアイコン（問 48）、Firefox（問 57）、ストーリーミング（問 76）などがあります。

このように、新用語は毎回出題されますが、総合で 60%、各分野で 30%以上得点すれば合格ですので、まずはシラバスの用語を徹底的にマスタし、過去問題及び公開問題で実践力を身に付け、類似問題は 100%正解できるようにする対策が重要になります。